**地域密着型サービス運営推進会議記録（第1回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム高砂 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和6年5月21日 |
| 会場 | 2階　高砂　エレベーターホール前 |
| 参加者 | 利用者代表 | 0人 |
| 利用者家族代表 | 2人 |
| 地域住民代表 | 1人 |
| 有識者 | 0人 |
| 高齢者お世話センター | 1人 |
| 市職員 | 1人 |
| 事業者 | １人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | １、施設状況について男性2名、女性15名　計１7名、平均介護度2.6　　3月28日～要介護1の女性が入所されるが、４月20日退所となる。２、入所者状況について2月20日午後、職員のコロナ感染から入所者に感染拡大し、2月21日、入所者1名2月22日、入所者1名　　　24日パキロビッドパック処方される。2月23日、入所者1名（隣のユニット）2月24日、入所者1名2月25日、入所者1名　　　26日パキロビッドパック処方される。回復にかかる日数に、個人差があり、一週間の方もおれば二週間かかる方もおられた。また、今回でコロナ感染２回目の入所者が２名おられた。３、行事報告について　3月23日　　　　消防避難訓練　4月6日　　　　　桜見学　5月4日・5日　　しょうぶ湯　5月8日　　　　　お誕生会４、職員研修報告　3月24日からミャンマーより、女性２名が特定技能実習生として業務　に就いています。3月の勉強会　「信頼関係を築くための接遇力を身につける」　　　研修　　身体拘束等適正化委員会4月の勉強会　　「認知症の基本知識」　　　　　　　感染症の予防及びまん延防止のための研修・訓練　　　　　　　→ＢＣP感染症研修（個人防護具の着脱の順番の基本）５、離設事故報告について　　　80代女性　　要介護1　4月19日、18時15分ごろ、本人の姿が見えず（いつも帰宅願望強く　落ち着きなく歩かれる）居室にも居られず、脱衣室の扉が半分開いて　おり、浴室内の小窓も開いていた。隣の棟の夜勤職員が、施設の外、近辺　を探すが見つからなかった。他の職員や系列の施設職員にも協力を求める。　家族様に報告、警察、消防署にも連絡・報告を行う。22時過ぎまで、捜索　するが見つからなかった。防災無線に関しては、個人が特定されると困る　とのことで、流すことはなかった。　4月20日、7時より捜索開始する予定であったが、警察からの指示を　待っていた。8時40分ごろ、家族が警察署員に呼ばれ、その後、家族様　より小松島市内で亡くなった状態で発見されたと言われる。　（事故発生の主な要因）　帰宅願望強く、離設する可能性があったにもかかわらず、脱衣室の施錠が　できていなかった（当該職員は、施錠していると思い込んでいた）　浴室内の小窓が全開できる状態であった。　（再発防止策）　脱衣室の施錠の確認の徹底（脱衣室横は、汚物室であり、洗剤類を保管　しており誤飲のおそれあり）　浴室内の小窓が全開できないように窓枠にストッパーを付ける。　　地域住民代表者様より、個人情報保護の観点から防災無線が流れなかっ　たが、流してくれてたら・・と言われ、今後も離設があった場合について　問われる。　　例えば、GPS機能が付いた携帯電話を持たせる、とか、鞄に付ける、　　家族代表者様（医療従事者）より、GPS機能を靴に忍ばせている方　　もおられたとの助言をいただく。　　　　　　　　　 |
| 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |
|  |  |
|  |